

## 2015タイ・ベトナム産業視察団 報告 ..... 2~7

### ～メコン経済圏発展の重要拠点を訪ねる～

チャイナプラスワンの中心的役割を果たし、今やタイプラスワンとまで言われる程に発展を遂げるタイと、市場に近い生産拠点として、また市場としても大きな注目を集め、ますます発展を続けるベトナムに、去る10月5日（月）～11日（日）の間、「2015タイ・ベトナム産業視察団」（団長：服部重彦本会会長・（株）島津製作所 相談役）を派遣いたしました。

タイでは、積極的な事業展開を続ける本会会員企業の現地法人を訪問するとともに、タイ国工業省産業振興局長を表敬訪問。ベトナムでは、南部の中心都市ホーチミン市副市長表敬訪問や日本のものづくりを学ぶ職業訓練機関、周辺都市ビンズン省に開発が進むニューシティと工業団地の日系企業を視察いたしました。

- ・正副団長寄稿
- ・団員所感、寄稿
- ・視察報告 など



## 会員企業トップにインタビュー（第2回） ..... 8



第2回目は、NKE（株）（長岡京市）に中村道一社長を訪問し、2代目である同社長より企業承継について、また同社の成長を支える「BBS（ブロック・ビルディング・システム）」等についてお話を伺いました。

◀中村道一社長

## 京都工業クラブ開催 ..... 9

業務革新研究会活動報告	10
品質革新研究会・生産革新研究会：TPM改善部会	
購買管理特別講演会開催	10
モノづくりベーシック講座開催	10
事務局だより	10

## 新入会員紹介 ..... 11

## 白鷺クラブ活動報告 ..... 9

### 第460回例会

包装機械のトップメーカー（株）京都製作所に橋本会長を訪ね、同会長のリーダーシップの下、成長を続ける同社の秘訣についてお話を伺い、研鑽を行いました。

### 宮城県産業視察（第462回例会）

自動車・電子機械・食品関連など多彩かつ高度な産業の集積を誇る宮城県を訪問、東日本大震災からの復興、そして更なる発展を目指す同県産業の現状と今後の展望への認識を深めました。

## 競争的資金活用入門（第2回） ..... 12

国や京都府などによる研究費や販路開拓費等、様々な経費を財政支援する競争的資金の活用についてご紹介します。ぜひご活用下さい。第2回の今回は、同資金を実際に活用されたアイマー・プランニング（株）・山崎社長様より体験談をご紹介いただきます。

## タイ・ベトナムを訪問して

2015 タイ・ベトナム産業視察団 団長  
(公社) 京都工業会 会長 服部 重彦



関空からお昼前に飛び立った我々は、6時間余りでバンコクに到着した。いつもの東南アジア特有の喧騒と熱気が我々を迎えてくれた。本当に久しぶりにタイにやってきた。仏教をベースとする穏やかで勤勉な国民性と、国王への畏敬を軸とする安定した政治を背景に順調に経済発展を続けてきたタイも、2008年には市民の反政府運動によるスワンナプーム国際空港封鎖や2011年には人災とも言われる大洪水、そして昨年の軍事クーデターなど、「今までにない動き」もみられるようになった。おそらく大きく変動しつつあるタイの様子をつぶさに拝見できる良い機会と、楽しみにやってきた。

まずはバンコクでの企業訪問を下記する。

10月6日（火） 見学初日。バンコクから北に50Kmにあるナワナコン工業団地のNissin Electric (Thailand) CO., Ltd.（日新電機現地法人）を訪問する。心配された交通渋滞もさほどではなく、1時間ほどで到着。こちらは1987年設立。電力機器関連の装置・部品を中心に年商約50億円、700名が働く。板金、プレス、溶接、組立とあらゆる工程が日本に劣らぬレベルで行われており、溶接技術者は日本のコンテストで優勝するほどである。5Sが徹底されており、工場長を始め女性の活躍も印象的だ。何もない状態から出発し、今や製造から販売までの確固たるノウハウを持ち、タイへの進出を希望する企業をサポートする協業まで事業を広げている。「企業は人なり、上手くいくまで10年かかった」と淡々とお話しされる駐在15年の天海社長の存在が大きい。ご馳走いただいた社員食堂でのタイ料理がなんとも美味しかった。

午後はバンコク東南約60Kmに位置するアマタナコン工業団地のKPN SAKAGUCHI (THAILAND) CO.,LTD.（阪口製作所現地法人）を訪問した。ナワナコンからの距離は100Km以上の長丁場であったが、この移動も渋滞は殆ど無く2時間程で到着した。日本からご同行いただいた阪口社長、そして現地の前田社長から丁寧な説明、案内を受ける。こちらは1997年の設立、自動車用安全部品を製造する。相次ぐ生産拡大で此方には2年前に移ってこられた。海外進出のきっかけは様々であるが、元々はプレスの技術指導を起源としており、続いて日本ブランドを必要とするタイの合弁相手KPN ASHIMORIからの要請で本格進出に至ったとのことである。「清水の舞台からは何度も・・」そして「我々はついていた」と阪口社長は大規模投資を謙遜されていたが、大型のプレス機が何台も並ぶ姿は壯観であり、同社の技術の高さと、タイでの事業への自信の象徴とも感じた。同社でも女性比率は高く、特に高度な注意力を要する工程は女性が殆どのことであった。

10月7日（水） ベトナム入り。ホーチミンのタンソンニヤット国際空港に着くと、ピリッと張りつめた入国審査に社会主義国を実感する。涼しかったバンコクに比べこちらは蒸し暑い。市内に向かうバスから外を眺める

と、目を引くのは道幅を埋め尽くすように走るバイクの群れだ。よく事故が起こらないものだと感心するが、やはり深刻な問題のようだ。また町中にとにかく若い人が溢れているのには驚く。後で調べてみると、ベトナムの平均年齢は28.1歳、タイは34.2歳、日本はなんと44.7歳だ。納得する。この若さで、はじめて優秀とされる国民性、そして世界第12位の人口を有するのであるから、未来は明るい。いや困難な歴史を振り返れば是非そうなってほしいと心から思った。

10月8日（木） ホーチミン市庁舎にホーチミン市副市长を表敬訪問する。2013年1月に安倍首相がベトナムを訪問、昨年3月にはサン国家主席が国賓として来日し、日越関係は順調に発展している。ベトナム式に副市长が我々を出迎えてくださった。先方の我々の経済投資への期待の表れか、関連団体の責任者を同席させるなど、対応はすこぶる丁寧だ。若い副市长がご自身の言葉でベトナムと日本との友好への期待を熱く述べて頂いたことが印象深い。

10月9日（金） ホーチミン市の北30Kmに位置するビンズン省を訪問。ビンズン省は海外からの企業誘致に積極的であり、域内のミーフック工業団地の開発加速のため、鉄道、高速道路、住宅、病院、大学、商業施設等を主要プロジェクトとする新都市開発を急ピッチで進めている。中心企業である政府系資本ベカメックスの植松氏にきめ細かい対応を頂いた。安価で質の高い労働力が豊富にあるベトナムで、しかも交通渋滞もなく、災害の危険も少なく、環境の良い新都市への進出は確かに我々にとって魅力的で、住まいとなる東急ソラガーデンズも駐在員には申し分ない環境だ。ご案内いただいたJAPAN VIETNAM FORGING Co,INC（内藤現地法人）、Kawasaki Heat Metal VN Co.,Ltd.、KEIDEN VIETNAM CO.,LTD.も順調なようである。

余暇活動のご報告を一つ。最終日10月10日（土）のメコン川クルーズの最後の手漕ぎボートが圧巻だった。「ボートに少し乗る」と聞いていたので、甘く見ていたところもあったが、ジャングルの中を不安定な小舟がかなりのスピードで進んでいく。対向からもどんどん同じような小舟がやってきて時折接触もする。想像すらしなかった迫力だ。一方テーマパークのクルーズのような安全のシナリオは希薄だ。おまけに後半には雨季の曇天から本格的なスコールの歓迎も受けた。安物カッパを渡されたがほとんど無力だった。違う違うの体で帰りの船にたどり着いた時の安堵感は何ともいえなかった。思い出に残る経験は多少の危険と困難が伴うという実体験だった。

最後に、今回の視察が有意義でしかも全員無事で日程を終えられた事に、ご参加頂いた団員の皆様全員に御礼申し上げる。特に最後のディナーにアオザイで盛り上げて頂いた奥様方、そして、我一行を素晴らしい気配りで、まとまり良く導いてくださった添乗員の福田様には心より感謝申し上げたい。 (株)島津製作所 相談役)

# 2015京都工業会海外産業視察 タイ、ベトナム報告

2015 タイ・ベトナム産業視察団 副団長  
(公社) 京都工業会 副会長 錦織 隆



## ●NISSIN ELECTRIC (THAILAND) CO.,LTD. 訪問

天海秀樹社長の28年間の駐在経験を拝聴。この社長あってのこの会社あります。頭が下がる。

女性工場長に現場を案内して頂いた。この国の女性は大変良く働き男性

以上。工場には新鋭の設備と熱心に働く社員。近年は人件費の高騰（毎年数10%）でコスト削減のため自動化も進めている。



## ●(株)阪口製作所訪問 (アマタナコン工業団地)

日本の阪口社長様自らご案内頂いた。需要増大に合わせて3回も工場移転し拡張。現在の工場は彩鮮やかなモダンな建物。工場内はきれいに整頓され気持ちいい。<SEIRI、SEITON>のポスターが光っていた。



## ●ベトナムHO CHI MINH CITY 職業訓練短期大学を視察。

20人／クラスで3年間みっちり現場教育訓練。13科目。



機械、電気、電子、ソフトウェアetc.日本人教員3人を含む100人を超える教員が指導にあたる。む

さほる様に一生懸命勉強している。この人達が将来この国を担うと思うと大いに期待でき楽しみである。

## ●BECAMEX IDC CORP. 訪問 (公営の開発企業、東急とのJV)

HO CHI MINHの北25kmに位置し単なる工業団地ではなく省政府、商業施設、高層住居、病院、学校etc.を併せ持つワンストップサービスのできるすばらしい工業都市を建設中である。 (完成予想→)



## ●(株)内藤訪問 (BECAMEXの子会社 工業団地内進出企業)

内藤社長様にご案内頂いた。中古設備をOHしきれいな工場内で高精度な部品加工。親会社の為でなく自社の為に進出。ベトナムには優秀な人が沢山。日本より合理化したすばらしい工場にすると意気盛ん。

## ●KAWASAKI HEAT METAL訪問 (BECAMEXの子会社 工業団地内進出企業)

2011年創業。自動車部品の熱処理。日系メーカーの韓国製熱処理炉を採用。連続式浸炭炉、真空炉、塩浴軟化etc.ベトナム南部ではNO.1の熱処理会社。

## ●KEIDEN VIETNAM (BECAMEXの子会社 工業団地内進出企業)

メッキの専門会社。2014年から創業。設備は日本の中古。RoHS対応する。現地製の設備も積極導入。若い代表者の熱心な説明を受けた。

◆タイは東南アジアの中では発展した国、ベトナムは益々伸びている国、どちらも拡大意欲旺盛で日本の進出企業の駐在の皆さんの意気込みのすごさと現地のスタッフのハンギリー精神に圧倒された。日本で忘れてしまったモノを思い起こす大変良い機会であった。 (株)日進製作所 会長)

## タイ・ベトナム視察団に参加して



今回の最初の訪問国タイは、自動車産業並びに電気電子関連が工業の中心であり、数多くの日本企業が進出し、着実に発展を遂げてきました。

初日に訪問させて頂いた(株)阪口製作所の阪口社長とは30数年来のお付き合いがあり、同業者でもあります。この(株)阪口製作所の現地法人「KPN・SAKAGUCHI」がアマタナコン工業団地にあります。

1997年に取引先からの要請を受けて18名でスタートされ、2003年に事業拡張と共に新たな地に移転……2013年には更にこれも手狭になり現在の工業団地へと移転され、最盛期には380名にまで業容を拡大されました。

この間、事業スタートから今まで幾度となく訪問させて頂き、当然のことながら決して順風満帆でこられた訳ではなく、大変なご苦労を乗り越えられての今日があります。その経営力に感服すると共に、中小企業が海外進出する難しさを勉強させて頂きました。

今回の視察の最初の訪問企業である(株)日新電機様の現地法人を訪問させて頂いた折にも感じたことですが、現地企業のトップに立つ経営能力に優れた優秀な人材をいかに確保できるかが、非常に大きなファクターであると

2015タイ・ベトナム産業視察団 副団長  
(公社) 京都工業会 副会長 山岡 祥二

改めて強く感じさせられました。

続いて3日目の夜にバンコクからホーチミンに移動しました。私にとっては初めてのベトナム訪問となります。

中心街の街並みはきれいに整備され、整然としている様は想像外の光景でした。

経済的には高度成長から安定成長へと向かうタイに比べて、ベトナムは比較的高い成長を保ち、まだ伸び代のある国というイメージがあります。大規模製造業の進出はほぼ一巡しているようで、現在では中堅・中小の製造業並びに非製造業の進出を積極的に推し進めているようです。

今回訪問したビンズン省の広大な工業団地は単に企業を誘致するだけでなく、マンション群や学校、病院、銀行、ショッピングセンター等々、一つの街を作り上げようという壮大な計画が進められており、まさに官民上げての一大プロジェクトといえ、ぜひ数年後に再訪したいものです。

最後に今回のタイ・ベトナム視察を通じて、若年人口が豊富で成長期にある国の勢いを感じる一方で、成熟期……あるいは衰退期に陥りつつある日本経済の舵取りの難しさを改めて思い知らされた視察となりました。

(株)山岡製作所 会長)

# 視察所感

## ◆大阪ガス株 小西 雅之

今回視察で最も印象に残ったのは、ベカメックスによるビンズン地区プレゼンテーションとミーフック工業団地視察でした。弊社は昨年からシンガポールとタイで、地元のエネルギー事業者等と合併で現地企業を設立し、エネルギーサービス事業を開始しました。今回は、ベトナムの工業団地への事業参入のポテンシャルや課題という観点で興味深く視察をさせていただきました。当該地区では単なる団地開発にとどまらず、大掛かりな都市開発という他にはあまり例のないコンセプトで、BCP対応等課題はありますが、今後工業団地の成熟化に伴い、更なる日本法人の進出やそれに伴うエネルギーサービス事業の成立も見込めるのではないかでしょうか。更なる発展を大いに期待しております。

## ◆太陽精機株 堀 英二郎

企業戦士の活躍

見学した5社の日系企業では、現地社員と一緒にになってタイ／ベトナムで日本流モノ作りに奮闘している日本人の姿が印象的でした。戦後復興を支えた企業戦士と言う言葉が思い出されました。

## ◆株オーランド 安藤 源行

大手メーカーの現地法人でありながら、天海社長様の経営手腕により独自の事業展開を進められている日新電機タイ、中小企業の立場で積極的に海外展開を図られた阪口社長様のKPN SAKAGUCHIが強く印象に残りました。グローバル化は中小企業にとって直面の課題であり、多くの示唆を与えていただきました。

## ◆株菊水製作所 島田 理史

私にとって初めて訪れる土地でありますタイ・ベトナムを、このような素晴らしい視察団で訪れることができ、様々な見聞を深められたことにより今後の経営判断に生かす事が出来ることに感謝します。

## ◆株片岡製作所 吹田 昌志

日本からの各進出企業が日本でのモノづくりをそのまま押し付けた様な体制ではなく現地の実情に旨く融合した体制づくりをし、人材育成を重視されている事について、海外で成功する実例を実感させて頂きました。

## ◆鹿野産業株 鹿野 恒雄

今回訪問した、ベトナム工業団地内の道路状態は非常に良いが、団地外道路は幅員が狭く、渋滞が発生しやすい。また、スコールにより道路上に水があふれ、バイク、車両にとって非常に危険で、合理的な物流計画の実行が困難と思う。

## ◆株ジース・ユアサ コーポレーション 吉田 浩明

おかげさまで、タイ、ベトナムの気候、風土、現地企業の状況を深く理解し、体感することができました。中古設備を積極的に活用し、製造原価低減に取り組む株内藤さんの取り組みがとても印象的でした。

## ◆日新電機株 伊藤 哲夫

バンコクでもホーチミンでも、まずは人々の若さと数に圧倒されました。公式訪問では京都の地名の大きさを確認し、広大な平地に三毛作の豊かさの中、激しい国際競争の一端も見聞できました。一週間ご一緒に頂いた皆様にもお礼申し上げます。

## ◆日本メカテクノ株 田村 格

複数の日系企業を見学しました。社会の環境の違いを乗り越えて、成功継続されている結果に感動いたしました。低価格でのものを作る原点を勉強させていただき、これからビジネスに大いに役立てたいと思います。

## ◆富士高分子株 田代 加平

工場見学と細かにご説明を頂き、タイ・ベトナムで日本企業の方々がそれぞれに苦労されている事がよくわかり、実のある視察研修でした。なかでもベトナムの職業訓練学校の学生達の「真剣なまなざし」は忘れていた昔の日本を思い出させ、感動させました。

## ◆株島津製作所 利根川 正明

ホーチミン市でホテル近くの大通りを現地の人に倣つて横断してみた。寸幅なく流れているように見えて時折隙間ができる。そこにすっと体を入れあとは上流のバイクの動きをよく見ながら、自分が障害になりそうなバイク乗りに「頼むよ」とアイコンタクト。途中けっして歩く速度を変更してはならない。走るなど論外。バイク乗りは煩がらずによけてくれる。渡り終えたとき、ベトナムという国まで好きになっていた。

## 《団員名簿》

団 長	服部 重彦	(公社) 京都工業会 会長／(株)島津製作所 相談役
	服部かづ子	服部重彦氏 令夫人
副団長	錦織 隆	(公社) 京都工業会 副会長／(株)日進製作所 会長
	錦織 幸子	錦織 隆氏 令夫人
副団長	山岡 祥二	(公社) 京都工業会 副会長／(株)山岡製作所 会長
団 員	小西 雅之	(公社) 京都工業会 常任理事
		大阪ガス(株) 常務執行役員京滋地区総支配人
	堀 英二郎	(公社) 京都工業会 常任理事／太陽精機(株) 社長
	堀 富美代	堀 英二郎氏 令夫人
	安藤 源行	(公社) 京都工業会 理事／(株)オーランド 会長
	阪口 雄次	(公社) 京都工業会 理事／(株)阪口製作所 社長

島田 理史	(公社) 京都工業会 理事／(株)菊水製作所 社長
吹田 昌志	(株)片岡製作所 常務取締役営業本部長兼電池事業担当
鹿野 恒雄	鹿野産業(株) 社長
吉田 浩明	(株)ジース・ユアサ コーポレーション 取締役
伊藤 哲夫	日新電機(株) 総務部秘書室長
田村 格	日本メカテクノ(株) 社長
田代 加平	富士高分子(株) 社長
鈴木 一弥	京都府 商工労働観光部特区推進監
利根川正明	(株)島津製作所 秘書室担当部長
有馬 透	(公社) 京都工業会 専務理事
町田 徳男	(公社) 京都工業会 理事・事務局長

# 京都工業会2015タイ・ベトナム産業視察団に参加して

## ～タイ王国と京都府との経済連携～

京都府商工労働観光部特区推進監 鈴木 一弥

この度、京都工業会さんの産業視察団に初めて参加させていただきました。京都企業さんがその強みを活かして、タイで現地生産・経営をされているご様子、ホーチミン市の職業訓練短期大学での訓練生の真摯な眼差しや同市郊外で進む新都市建設に触れることができる貴重な機会を賜りました。服部会長様はじめ、お世話になりました皆様方に改めて感謝申し上げます。

実は、今春以降、京都府はタイ王国との間で、経済連携を模索する動きを加速化させております。今年6月に同国政府政策顧問の方を通じて、京都府との経済連携協定を結びたいとのお話をいただいたのを皮切りに、7月には工業省副大臣にけいはんな文化学術研究都市を視察いただき、スマートシティのあり方について、相互に連携するべく意見交換をさせていただきました。また、視察団離日の前々日にあたる10月3日には、科学技術大臣を京都リサーチパークに御案内し、両国での産学連携のあり方について意見交換をさせていただきました。

このような交流が進む最中に、10月7日にタイ王国工業省を訪問させていただく機会をいただけたことになります。当日、ご対応いただきました同省のソムチャイ ハーヒラン工業振興局長様からも、早期に連携協定を締結して、より多くのビジネスマッチングに繋げていきたいとのお言葉を頂戴することができました。

現在、同省との間で、経済協定の内容について、具体的な文言の調整を進めているところです。一刻も早く、締結に漕ぎ着け、皆様方に御報告させていただきたいと考えています。その結果、相互の交流や連携が一層進展し、京都企業さんのビジネスチャンス拡大に繋がるよう、京都府もご一緒にさせていただきますので、引き続き、よろしくお願いします。

### 視察日程

日 次	地 名	時 刻	交通機関	日 程 (宿泊地)
1 10／5 (月)	関西空港 バンコク	11:45 15:35 18:30	TG623	(閑空発) バンコクへ 到着後、ホテルへ 夕食は、タイ古典舞踊を鑑賞しながらタイ料理 ル・メリディアン・バンコク 【バンコク泊】
2 10／6 (火)	バンコク	9:45 14:30	専用車	[午前]ナワナコン工業団地へ ・日新電機(株)現地法人 観察 [午後]アマタナコン工業団地へ ・(株)阪口製作所現地法人 観察 ル・メリディアン・バンコク 【バンコク泊】
3 10／7 (水)	バンコク ホーチミン	10:00 11:30 18:15 19:45	専用車 TG556	[午前]タイ国工業省 表敬訪問 JETROバンコク事務所 訪問 [午後]バンコク市内視察 (バス車窓からの視察) (バンコク発) ホーチミンへ 到着後、市内レストランで夕食、ホテルへ ホテル・ニッコー・サイゴン 【ホーチミン泊】
4 10／8 (木)	ホーチミン	10:00 14:00	専用車	[午前]ホーチミン市長 表敬訪問 JETROホーチミン事務所 訪問 [午後]ホーチミン市職業訓練短期大学 訪問 ホテル・ニッコー・サイゴン 【ホーチミン泊】
5 10／9 (金)	ビンズン	9:15 10:30 13:00 14:15	専用車	[午前]ビンズン省へ移動 ビンズン省に関するプレゼンテーション (ペカメックス事務所) 東急ソラガーデンズ、ビンズン新都市 観察 [午後]ミーフック工業団地へ ・(株)内藤現地法人 訪問 ・川崎塗化工業(株)現地法人 訪問 ・京王電化工業(株)現地法人 訪問 ホテル・ニッコー・サイゴン 【ホーチミン泊】
6 10／10 (土)	ホーチミン	20:50 22:15 23:30	専用車 TG557 TG622	[午前]メコン川クルーズ [午後]ホーチミン市内視察 (統一会堂・ベンタイン市場・夕食) (ホーチミン発) バンコク経由帰国途へ (バンコク発) 【機中泊】
7 10／11 (日)	関西空港	7:00		到着後、解散

\*TG……タイ航空



# 2015 タイ・ベトナム産業視察団 報告

## ■10月6日（火）

### ●日新電機タイ株 視察

ご対応：天海秀樹社長

- ・所在地：ナワナコン工業団地内（バンコク北約60km）
- ・事業内容：装置・部品、受変電機器、バスダクト事業、サポートイングインダストリー事業等
- ・設立：1987年10月
- ・従業員：697名（タイ人680名、日本人17名）

設立当初から28年間、天海社長のもと事業を展開し、親会社の日新電機の製品だけでなく、受託部品加工、日本からタイへの進出を希望する中小企業の支援も継続。タイでは、女性が工場長をはじめ重要なポストに多く就いている。2006年には、ベトナム子会社も操業を開始。



### ●KPN SAKAGUCHI CO.,LTD. 視察

ご対応：阪口雄次・（株）阪口製作所社長

前田 勉・KPN SAKAGUCHIマネージングディレクター

- ・所在地：アマタナコン工業団地内（バンコクから東へ約60km）
- ・事業内容：自動車向け、電気製品用のプレス部品製造
- ・設立：1997年3月
- ・株主：阪口製作所 81%、KPNグループ（タイ）10% トヨー産業 9%

・従業員：210名

事業概要説明の後、自動車のシートベルト金具のプレスから接合、焼入れ、検査、出荷まで各工程を流れに沿って案内頂いた。集中力が必要な検査業務などは全員が女性であり、男性とともにいきいきと働く女性の姿が目立つ。同社は、近々立ち上る「タイ京都倶楽部」の代表となる予定。



## ■10月7日（水）

### ●タイ国工業省 表敬訪問

ご対応：ソムチャイ・産業振興局長

ソムチャイ局長からの歓迎挨拶で、京都の訪問経験を披露。タイは日本の12都市との連携を保ち、京都には大いに関心



がある。タイには技術力と優秀な人材があり、投資を歓迎したいと挨拶。服部団長からは、京都には100年以上の歴史がある企業が約1300社あるが、新しい優秀な企業も多く、再度の京都訪問を期待している、知事の親書を持参しており、スマートシティなどでも協力したいと挨拶。京都府の鈴木・特区推進監からソムチャイ局長に親書を手渡し、今後の関係強化を確認した。

### ●ジェトロ バンコク事務所 訪問

ご対応：保住正保・所長

服部団長から挨拶の後、保住所長からタイの経済・政治情勢と投資環境等について説明。3年前の洪水の後、復興で一時GDPの急激な伸びが見られたが、その後内政の混乱、中国経済の減速等の影響で景気回復は力強さに欠けている。ただ、8月に、改造内閣の副首相に元商務大臣が就任したことから、今後の経済政策への期待は大きい。日本からの滞在者数は増加し、統計上6万5千人となっているが、推定で10万人といわれている。日本食レストランが2,300店舗強あり、タイ料理店の次に多い、等の説明もあった。



## ■10月8日（木）

### ●ジェトロ ホーチミン事務所 訪問

ご対応：深川敦子・次長、栗原善孝・アドバイザー

栗原アドバイザーから、ベトナム南部はホーチミン市など経済の中心地であり、消費志向が高い。一人当たりGDPは、2014年で2,053ドルで、市内はバイクであふれているが、3,000ドルを超えると自家用車が多くなるといわれている。日本のODAにより、新空港までの高速道路の整備が行われるなど日本との関係は深く、イオンもホーチミンとビンズン省に出店。来年、高島屋も出店する予定。

質疑応答では、北部のハノイは、政治力が強く経済特区など優遇措置があり、大企業や中国との関係が深い。ホーチミンを中心とする南部はアセアン企業との連携が強くインフラの整備が進んでいる、などの説明があった。



## ●ホーチミン市副市長 表敬訪問

ご対応：LE THANH LIEM副市長ほか外務局副局長等

服部団長から、京都とホーチミン市との今後の良好な関係継続に寄与したいと挨拶。副市長から歓迎の挨拶と出席者の紹介があり、日本からベトナムへの進出企業は多く、日本との定例会議や投資セミナーを開催して、既に関西はじめ日本との良好な関係を維持している。ITやハイテク関連、食品、化学など京都からの投資を歓迎するとの発言があった。

服部団長からも、ベトナムは若者が多く魅力的で、日本人と考え方が似ていることなど打ち解けた会談が行われた。また、京都府の鈴木・特区推進監から知事の親書が副市長に手渡された。



## ●ホーチミン市職業訓練短期大学 訪問

ご対応：トアン事務所長、ヌー副学長他

- ・所在地：ホーチミン市内に本部と第2キャンパス
- ・授業内容：初級、中級（2年）及び短期大学（3年）
- ・科目：機械製造、自動車技能、IT関係等13業種
- ・学生数：約4,200名
- ・スタッフ：教員180名、事務局員8名

服部団長から、川崎市国際経済推進室の武田様の紹介により視察できしたことへの謝意を伝える挨拶があり、トアン事務所長から短期大学の概要について説明。特に川崎市の協力により、旋盤や金型、5Sなど日本のものづくり授業を通じ機械科の生徒達の人材育成を行っていることなどを説明。その後、学内の視察では、川崎市から来られている金型特級技能士の鈴木福雄指導員による実際の指導やヤスリがけをする学生の様子などを視察した。



## ■10月9日（金）

### ●ベカメックスIDCコーポレーション 訪問

ご対応：植松完二・マーケティング部副部長

キム・ティ日本投資推進担当（植松副部長夫人）

- ・所在地：ビンズン省チュヤウモット市
- ・総資本：5兆5千億ドン（100%政府資本）
- ・事業内容：工業団地、都市区及び交通インフラ整備等
- ・設立：1976年
- ・従業員：3,922名（外国人専門家30名）

植松副部長からベカメックス社とビンズン省、ビンズン新都市開発事業等について説明。ミーフック工業団地は2002年にスタート。周辺に住宅と商業施設を配置するなど複合開発し、現在10万人の町ができている。



## ●東急ソラガーデンズ 観察

ご対応：キム・ティ日本投資推進担当

東急電鉄とベカメックス社が開発するビンズン新都市の「ゲートシティ」として位置づけられる24階建超高層マンション、現在2棟が完成しており、モデルルーム等を観察した。



## ●ビンズン新都市 観察

ご対応：キム・ティ日本投資推進担当

- ・投資額：12億ドル規模
- ・敷地面積：72ha

バスの車窓から、ビンズン省行政統合センター、学校や低価格住宅、商業施設など新都市を観察。



## ●ミーフック工業団地内の日系企業観察

### ●株内藤現地法人（Japan Vietnam Forging Co., Ltd.）

ご対応：内藤秀一・株内藤社長

- ・従業員：38名（日本人3名）
- ・事業内容：精密部品の塑性加工、冷間鍛造等

内藤社長から、精密機械部品の設計開発・製造・組立ておよび精密部品の塑性加工から機械加工まで高い技術力で対応しているが、設備類は中古品をオーバーホールし利用している。初期投資に多額の資金をつぎ込まないことが肝要との説明があった。



## ●川崎塗化工業株現地法人（Kawasaki Heat Metal VN Co.,Ltd.）

ご対応：堀江宏之・現地法人社長、深田祐一・現地法人工場長

- ・従業員：72名（日本人2名）

- ・事業内容：金属部品の生産及び金属熱処理等

堀江社長から、自動車関連の受注が多く、厳しい品質管理に対応するための設備投資、人材育成に尽力していると説明。



## ●京王電化工業株現地法人（KEIDEN VIETNAM CO.,LTD.）

ご対応：生沼涼・現地法人総支配人

- ・事業内容：金属製品に対する表面処理（めっき）

生沼支配人から、強みはメッキの守備範囲が広い点。製造原価は日本より15%程度しか安くできず、付加価値の高い製品を目指していると説明。



## ■会員企業トップにインタビュー〈2〉

# 「BBS」で最適モノづくりを実現 ブロック・ビルディング・システム

NKE(株)

社長 中村道一氏

### —創業のきっかけは？

父である現会長が、昭和43年に大手制御機器メーカーから独立し、自宅の一室で製図版一つを手に機器設計事務所を立ち上げました。

創業当初は厳しい経営環境の時期もありましたが、苦労を重ねながらも製造機器や組み立て生産システムを開発し、幸いにも業績を上げることができました。

### —企業承継の覚悟と経営の基本戦略を教えて下さい。

平成17年に二代目社長に就任しましたが、その時に経営の基本に考えたのが、「人中心で発展し、独創的開発を行う世界企業をめざす」の一点でした。社員の顔がいつも見えて、名前も覚えられる規模の企業ですので、互いの信頼関係をベースに一人一人が真に働きがいのある、人を中心とした経営を心がけてきました。給与、組織体系を変え、社員教育に注力した結果、これにより社員の成長ぶりを手に取るように発見することができました。

「教育」とは「共に育つ」であるとの大方針のもと、社内で月一回、土曜日に勉強会を開催していますが、若手社員は積極的に参加しており、今後の成長を大いに期待しています。

### —設計思想「BBS」についてご紹介下さい。

モノづくり産業の永遠の課題は「効率化」です。その推進策の一つが生産システムの自動化なのですが、中小企業にとって多額の経費負担等のリスクを回避したコンセプトを確立させ、より良いシステム提供の手法が求められていました。そこで創業時に現会長が、標準化で汎用性を持たせてリスク回避できる「BBS」にたどり着いたのです。このBBSが我が社の成長を支える成長思想となり、自動化システムを組み立てる際、構成機器を標準化してユニット化し、これらを組み合わせることを可能としました。

顧客の生産現場の課題を自動化システム開発で解決し、同時にそのシステムの中から標準化可能部分を切り取って新たに製品化する、また新たに開発した製品を使ってよりハイレベルな自動化システム開発と、スパイラル状にシステム開発を続けるというもので、幾多の製品設計に活用されてきました。

このBBSにより工作機械など多くの機械で当然の如く使用されてきたエアチャック、またその応用部品のスライドシリンダー、生産設備を制御する配線数を減らせる

### NKE株プロフィール

工ア機器、搬送機器等の省力化機器、省配線機器等の製造。  
資本金：2億9700万円 従業員：130名  
長岡市馬場岡27 Tel.075-955-0071



省配線システム「ユニライン」、また備品搬送用コンベヤーシステム等々、業界に先駆けて提供してきました。

これにより我が社の経営リスクを回避し、我が社の資源を融合させて最適ソリューションを提供する事が可能となり、幸いにも「成長の源泉」とすることができました。

今後とも新しいシステムを作らないと新たな発想が生まれない危機感から、新たなブロックを生み出すことに全社を挙げて集中していきたいと思っています。

### —海外展開も始まりましたね？

昨年、「変革を起こす」を基本方針に、国内では営業の強化と組織の再編を行いました。いわゆる連邦制の導入と新規案件に的確に対応するための開発グループを設置しました。これにより海外では、中国・廣州の営業拠点設置に続き、ASEAN地域での事業を拡大するため、一昨年12月に日新電機さんのタイ工場内に駐在員事務所を開設しました。今年は、このような内外の案件について積極的に対応し、成果を出したいと思っています。

### —最後に、今後の抱負をお聞かせ下さい。

モノづくりの環境がいかに変化していくとも、モノづくり産業がある限り生産システムの効率化への要求がなくなることはないと確信していますし、我が社のBBS思想は今後とも不变です。この基本的立場からハンドリング・搬送・セル生産支援・省配線・ネットワークの重点5分野で新しいシステム開発を行っていきたい。更に業種としてこれまで関わりの少なかった食品、薬品、医療等にも積極的参入を図っていきたいですね。

いずれにせよ、中小企業ではヒト・モノという社内資源をいかに融合、進化させていくとするのか、更にその最適な経営手法を見つけ出す不断の努力が求められていると思っています。

## 第580回 京都工業クラブ

7/7

## 「安保法制をめぐる米国の思惑」

同志社大学 学長 村田 晃嗣氏

国会で焦点となっている安全保障関連法案の審議が注目され、わが国とアジア諸国、アメリカとの外交に関心が高まっていることから、アメリカ外交、安全保障政策論がご専門で明快な解説で著名な村田同志社大学学長をお迎えし、お話をいただいた。



講演では、非常に複雑な今回の安保法制についての解説や、アメリカの思惑、そしてそのアメリカの大きな社会的变化等について解説をされ、最後に「今後はますます日本とアメリカの相互理解と価値共有が必要である。」と述べられた。

## 第581回 京都工業クラブ

8/21

## 「現代に生きるモノづくりのこころ」

下出 蒔絵司所 三代目 下出 祐太郎氏

京都迎賓館の調度類を製作、国際的にも活躍されている、現代を代表する蒔絵師の下出氏をお迎えし、京都の伝統工芸が伝承してきたモノづくりのこころ、技の研鑽と人づくり、伝統と革新の融合などについてお話をいただいた。



講演では、実際に蒔絵を施した品や道具を回覧され、手に取りながら各々の特徴や違いについて解説がなされた。京都迎賓館の蒔絵についてはビデオでその製作過程を紹介され、技術の粋を極めた様子を見ることができた。伝統工芸の奥深さ、モノづくりの技やそこに内包された知恵の伝承について学ぶ良い機会となった。

## 第582回 京都工業クラブ

9/11

## 「無線LANの最新技術動向」

京都大学大学院情報学研究科 教授 守倉 正博氏

近年の携帯電話・スマートホン等の普及により、様々な場面で無線通信が注目を集めていることから、長年NTT情報通信関連研究所で活躍された京都大学の守倉先生をお迎えし、お話をいただいた。



講演では、現代を情報爆発の時代とされ、それに応えるべくこの20年で無線通信が大きな技術的進歩を遂げたこと、そして2020年の東京オリンピックに向けて年率1.5倍で増加するトライフィック（ネットワークを流れる情報、またその情報量）需要を満たす技術開発が重要である、と述べられた。

## 白鷺クラブ 活動レポート

8月20日(木)

## 株京都製作所・橋本 進会長を訪問

各種包装機械及び産業用機械のトップメーカーとして知られる(株)京都製作所の橋本 進会長（本会理事）を訪ね、第460回例会を行った。

最初に、同社の誇る最新鋭機械の生産ラインと展示ルームの見学を行った後、橋本会長より「京都製作所の経営」をテーマに講話がなされた。

「我が社のモットーは客先のニーズにもとづき、その期待を上回る機械の開発を行い、生産機械に要求される機械の基本機能とともに、客先とともに培われたノウハウを体系的、総合的に融合させて新たな潮流をつくり、常に最高レベルの装置を実現し、“単品受注生産”と生産機械にこだわり続ける技術力で応えていくことにある。」

「更にユニークな独立採算性を導入、社員にコスト意識を徹底させるとともに、モチベーションを向上させ全社一丸となって社業を発展させていきたい。」とモノづくりへの情熱とこだわりを吐露され、橋本会長の力強いリーダーシップに感銘を受け、同社を後にした。

10月15日(木)・16日(金)

## 宮城県へ産業観察旅行



▲東京エレクトロン宮城(株)にて

白鷺クラブとして初めて、自動車、電子機械、そして地場産業の高度集積を誇る宮城県を訪問、東日本大震災からの復興、更なる発展をめざす宮城県産業への理解を大いに深める有意義な観察となった。

1日目 宮城県庁訪問（仙台市）

トヨタ自動車東日本(株)訪問（黒川郡大衡町）

2日目 東京エレクトロン宮城(株)訪問（黒川郡大和町）

かまぼこの(株)鐘崎訪問（仙台市）

東北電子産業(株)訪問（宮城県利府町）

浦霞醸造元（株）佐浦訪問（塩竈市）

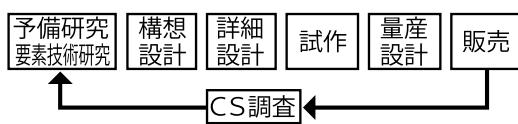
## ◆業務革新研究会 活動紹介

本会の数多くの人材育成事業の中でも、「基幹事業の1つである業務革新研究会(8研究会)」では、5月例会からアドバイザーを迎えて講義や演習及び工場見学を通じた活動が本格化した。以下、主な活動概要を紹介する。

### [品質革新研究会] (6月22日)

「企画開発段階や生産工程における品質管理のあり方」を研究している品質革新研究会では、去る6月例会において、高山直彦氏(株)島津製作所 分析計測事業部 副参事)から製品のライフサイクルと各手法との関連や、製品開発段階での重要な手法である「DR(デザイン・レビュー)」についての講義を受けた。

#### ◇DR (Design Review)

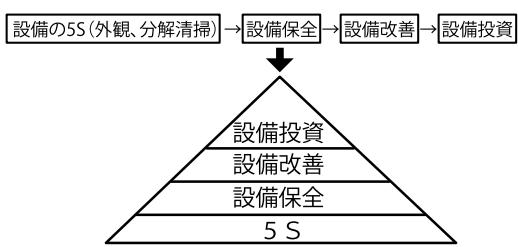


研究会メンバーは、自社の製品や部材の開発、設計、生産の仕組みとの対比から、その理解を深めた。

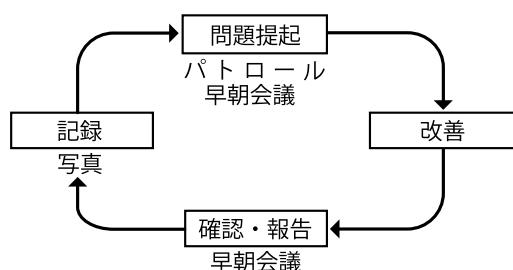
### [生産革新研究会: TPM改善部会] (7月24日)

「生産すべき時に生産設備が故障なく100%稼働する設備保全のあり方」をメンバー企業やOB企業の工場見学を通じ、研究している生産革新研究会: TPM改善部会では、去る7月例会において、高橋文彦氏(株)高橋事務所 代表)から、設備保全の進め方とその維持継続のための仕組みを、近年、目覚ましい成果を上げている(株)淀製作所(八幡市)の見学(成功事例)を含めて講義を受けた。

#### ◇TPM活動の流れ



#### ◇継続の為の仕組み (例)



研究会メンバーは、自社との対比から、効果的な設備保全の進め方とその継続のための仕組みづくりについて、多くのヒントや気付きを得た。

## ◆SCM時代の購買資材業務のあり方

～購買管理特別講演会を開催～

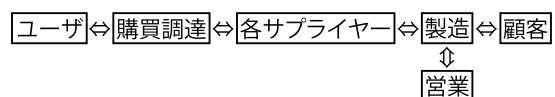
9 / 15

今、経営活動のグローバル化に伴い、購買資材部門の調達業務やサプライヤー管理業務の重要性がますます高まる中、本会・購買資材問題懇話会では、去る9月例会にて、調達業務研究家として高い評価を得ておられる坂口孝則氏(未来調達研究所(株)取締役)をゲストに招き、懇話会以外の会員企業にも広く参加を呼びかけ、30名の参加者を得て、購買管理特別講演会を開催した。

坂口氏は、SCM(supply chain management)時代の今日、サプライヤー個別対応の高度化だけでなく、ビジネス全体の情報収集と価値分析が必要となっており、競合分析(トータルコストマネジメント、リソース有効活用)、リスク対応(災害、為替、政治的リスク等の多様化とグローバル化)、CSR調達(CSR意識の醸成の向上と新興国対応等)の3つの視点が重要であると解説。質問も多く出て、充実した講演会となった。

〈従前〉購買資材部門 ⇄ サプライヤー(個別対応の高度化)

〈現在〉(ビジネス全体の情報収集と価値分析が必要)



## 新規事業

### ◆ものづくりベーシック講座を開催

未来を担う若手社員の教育の場として、ものづくり業務に関するQCD(品質・コスト・納期)+S(安全)等の基本知識の習得を目的に新規事業「ものづくりベーシック講座」を本会・業務革新研究会の各アドバイザーを講師に迎え、7月1、8、15、22日の計4回で17社27名の参加者で開催した。

第1回目は、「ものづくりとは」をテーマに、生産現場リーダー力強化研究会アドバイザーの川崎和久氏に、チームワーク、KYT、5S活動等のものづくり業務における基本的な事項について

第2回目は、「生産管理」をテーマに、生産管理研究会アドバイザーの高橋浩史氏に、生産管理の基本的な考え方としてTOC概論、スループット最大化の方程式等について

第3回目は、「購買管理」をテーマに、購買調達革新研究会アドバイザーの北村繁一氏に、購買業務の目的や役割等の購買業務に関する基本的な事項について

第4回目は、「品質管理」をテーマに、品質革新研究会アドバイザーの高山直彦氏に、ISO9001、工程品質、設計品質等の品質業務に関する基本的な事項について

各々ご講義いただいた。

全体を通して、演習を中心に行う事により、活発な意見交換・情報交換により理解が深まった等の声もいただき、充実した講座を終えた。

## 事務局だより

辻 史郎(業務課参事)

8月17日に事務局に着任しました。  
(株)島津製作所から出向)



## 新入会員ご紹介

(9月18日、第302回理事会で承認されました。)

### 正会員

#### (株)ナベル

社長 南部 邦男

〒601-8444 京都市南区西九条森本町86  
TEL.075-693-5301 FAX.075-693-5302  
業種：食品機械製造業  
販売品目：鶏卵の自動洗浄選別包装装置  
鶏卵の非破壊検査装置及びこれらを応用した品質管理、品質分析装置



#### (株)増田組

社長 大藪 純一

〒612-8086 京都市伏見区京町北7丁目21-1  
TEL.075-601-7321 FAX.075-622-1446  
業種：総合建設業、一級建築士事務所

### 特別会員

#### 京都信用保証協会

理事長 麻生 純

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17  
TEL.075-314-7223 FAX.075-321-6331  
業種：信用補完業務



いつでも、あなたの  
ビジネスのそばに。



## 京都中央信用金庫

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

TEL 075-223-2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

URL [www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp)

なが——い、おつきあい。



事業をしっかりサポート ビジネスパートナーをご紹介 アジアでのビジネスをサポート

事業融資

ビジネスマッチング

貿易・海外取引

企業の成長戦略をお手伝い

各種金利プラン充実

M&A

住宅ローン

京都銀行はさまざまなシーンで  
皆様を応援します！

飾らない銀行

 京都銀行



ゆたかなコミュニティを求めて

コミュニティ・バンク 京都信用金庫は  
地域の皆様とともに歩んでまいります  
これからもよろしくお願ひいたします

 京都信用金庫

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

# 競争的資金活用入門②

## 競争的資金の活用体験記

アイマー・プランニング(株) 代表取締役 山崎 憲司郎



〒612-8384  
京都市伏見区下鳥羽浄春ヶ前町112番地  
TEL 075-603-3878  
URL <http://www.imer.jp>  
設立: 1993年 資本金: 1,500万円  
社員数: 21名  
印刷の完全自動化システム開発及び製造

### ■オンリーワンの印刷機をつくりたい!

弊社は印刷機器関連の特許戦略を基本に創業し、これまで製缶会社とともに缶印刷の品質向上、省力化、スキルレスを追求してきました。しかしながらニーズに対応していく中で、既存印刷機の改良だけでは要望に応える限界を感じていました。それは無人化です。製缶会社各社様の要望を満たすには、これまで海外メーカー1社でほぼ独占状態の製缶用印刷機市場に参入する以外に選択肢はありませんでした。印刷機自体を作るメーカーになるということです。ただ無計画な絵空事を決めたわけではありません。これまで弊社は既存印刷機を改良するためのモジュールを次々に開発してきました。これらの集合体がオンリーワンの印刷機を誕生させるのです。

しかし実現までにはいくつかクリアしなければならない難問があります。時間と場所、そして資金です。開発で生計を立ててきた企業であり、新しいものを生み出すことに不可能は感じませんが、やはり現場の意見要望がアイデアの源泉です。開発までの時間はこれに大きく左右されると言っても過言ではありません。そこに多大なお力添えをいただいたのが他でもない製缶会社各社様でした。例えば某大手製罐グループ様には検証案件について稼働中の印刷機を使用させていただくという異例のご協力をいただいている。

次に場所です。モジュールの集合体を組み上げることが可能な場所を新たに準備しなければなりません。伏見区で育ってきた企業であり、この地に愛着もあります。より大きく成長し恩返しもしたい。そんなことから前事務所から徒歩5分、伏見警察署の並びにあった物件を取得したのが平成25年9月末のことです。

### ■活用経験ゼロからのスタート

最後に資金です。きっかけは公益財団法人京都産業21からの電話でした。現弊社コーディネータである小原氏がご来社、同財団が実施する競争的資金「エコノミック・ガーデニング支援強化事業」をご紹介いただき、大きな1歩を踏み出しました。しかし半年弱という短い期間で申請までの資料を容易に取りまとめられるほど場数を経験してきたわけではありません。逆にこのような大きな競争的資金の申請はゼロに等しい状態でしたが、小原コーディネータが最後の最後まで伴走してくれたおかげで採択に至りました。

申請資料作成においては、説得するための根拠の積み重ねを丁寧に見える化することが大切であり、取り組む

べき課題と解決方法の明確化が求められます。また、開発→設計→組立→検証→完成→販売、そして拡販までのストーリーを工程表にして実現可能なスケジュールであることを表現しなければなりません。これらの点で弊社が有利だったのがこれまで缶印刷のたゆまぬ追求を行つて下さった製缶会社各社様がいたことです。全力でご協力をいただける環境は、弊社が申請資料を作成するにあたり迷わず明確化できる大きな基盤となりました。

### ■活用チャレンジの大きな副産物

そして弊社にとって大きな財産となる副産物もありました。プレゼン資料作成等を通して社員のスキルアップが図れるだけでなく、会社が目指す方向を見える化、共有化することでモチベーションにもつながり、仕事への取り組み方が変わった社員が出てきてくれたことです。弊社のような小さな企業にとって社員1人1人の姿勢は、業績のみならず、得意先、仕入先、その他協力会社に至るまで企業の存在価値を判断する材料となります。申請資料作成は第三者を説得する材料作りにとどまらないということです。

とはいっても、採択後の大変さもあえて述べておくと、報告業務が最たるものですが、そこは日頃からの帳票類の整理、管理が大切。習慣化がこの業務をやり遂げる最大の方法であると思います。このように競争的資金を活用することで得られるものは一般的の融資とは明確に違い、多くの副産物をもたらすということです。

### ■コーディネータに支援され背伸びせずにトライ

また、資金繰りの面でいうと「エコノミック・ガーデニング支援強化事業」では、事業年度の途中で積算された経費予算をもとに概算払いがあるのも非常に助かります。そして何より、小原コーディネータには採択後も人や会社のつながりまでもサポートしていただき、大変感謝しています。京都中小企業技術大賞優秀賞、京都府発明等功労者表彰優秀賞の受賞により新聞にも取り上げてもらったり、公的機関へのアピールが下手だった企業が納税以外で京都に貢献できるきっかけを作っていただきました。

これからこういう制度の活用を考えておられる中小企業の方々は背伸びをせず、コーディネータをしっかりと頼って競争的資金を活用していくのも、融資などとは異なり貴重な経験や副産物が得られ大変よいのではないでしょうか。

協力: 小原 章彦 (京都産業21)、西村 敏弘 (京都府ものづくり振興課)

## 京都工業会ニュース No.384

2015年11月27日発行

発行 公益社団法人 京都工業会

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2  
TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755  
URL: <http://www.kyokogyo.or.jp>  
E-mail: [info@kyokogyo.or.jp](mailto:info@kyokogyo.or.jp)